



# 日本遺産「鯨とともに生きる」

2016年、和歌山県の熊野灘沿岸地域の捕鯨文化に関するストーリー「鯨とともに生きる」が日本遺産に認定されました。

鯨は、日本人にとって信仰の対象となる特別な存在でした。

熊野灘沿岸地域では、江戸時代に入り捕鯨の技術や流通方法を確立し、鯨に感謝しつつ鯨とともに生きてきました。

この地域には当時の面影を残す旧跡がまちなかや周辺に点在し、鯨にまつわる祭りや伝統芸能、食文化が今もなお受け継がれています。



宇久井半島の山見台跡群  
(那智勝浦町)



燈明崎(太地町)



三輪崎の鯨踊(新宮市)



河内祭の御舟行事(串本町)



熊野速玉大社

世界遺産のまち  
熊野の都  
新宮市



新宮城跡

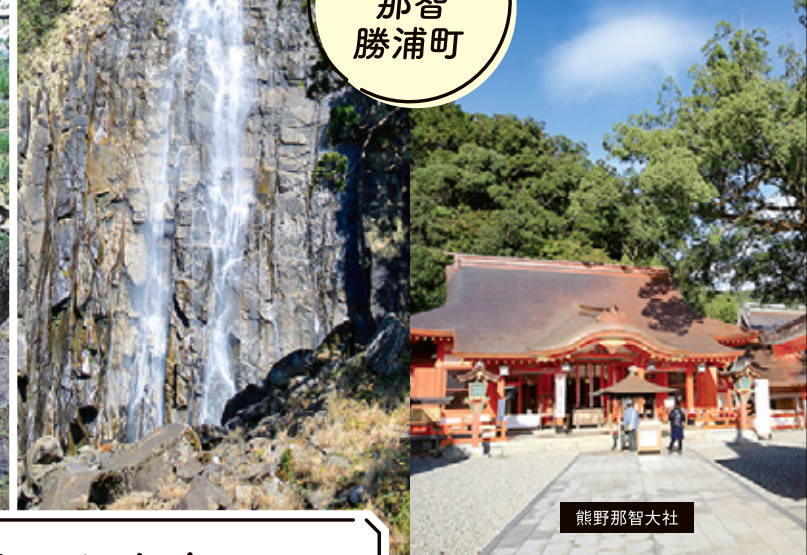
神倉神社



那智の滝

大門坂

歴史と自然溢れる  
世界遺産のまち  
那智  
勝浦町



熊野那智大社

## 熊野灘ってこんなトコ



古式捕鯨  
発祥のまち  
太地町

太地町立くじらの博物館本館

太地町立くじらの博物館  
海洋水族館(マリナリウム)



橋杭岩

雄大な  
自然に恵まれた  
本州最南端のまち  
串本町

串本沿岸海域

串本海中公園



梶取崎

